

2021年12月2日 第399号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センターなど5団体で院内集会

許すな!岸田政権の大軍拡・改憲路線!

改憲発議許さず、参院選勝利にむけ反転攻勢のたたかいを!

「許すな！岸田政権の大軍拡・改憲路線—大軍拡に反対する院内集会」が12月1日、参議院議員会館内会議室で開かれ、オンライン視聴を含め120人が参加しました。憲法共同センター、憲法会議、日本平和委員会、国民大運動実行委員会、安保破棄中央実行委員会の5団体による共催。敵基地攻撃能力の保有、戦争する国づくりのための大軍拡、改憲に前のめりの岸田政権。この危険な動きを私たちの運動を大きく広げることで止めましょう。日本共産党の井上哲士参議院議員が情勢報告・あいさつを行いました。



憲法共同センターの小田川義和共同代表が主催者あいさつ(写真)。「12月6日からはじまる臨時国会に補正予算が出されるが、過去最大の7738億円の軍事費を補正で措置し、当初予算の5兆3400億円に加算すれば6兆円を超える。国民的合意があるとは思えない。軍事費よりも子育て世帯・生活困窮者世帯のすべてに給付金を支給すべきではないか」と指摘。九州から沖縄にかけての軍事要塞化が進み、米軍の2軍として自衛隊が強化されていると述べて、「大変危険な状況だ」と強調。「大軍拡に反対するたたかいは共闘の中心的課題であることを確認し、参議院選にむけ、反転攻勢のたたかいを強めよう」と呼びかけました。

紛争解決に平和的な話し合いをせず、軍拡一本やりの自民党

「なぜ緊張緩和を探さないのか」と題し、神戸女学院大学の石川康宏教授が講演しました。『毅然とした日本外交の展開』と『国防力』の強化で日本を守る」という自民党の選挙公約を紹介し、「総選挙で国民に認められたからやらせていただくということだ。紛争は平和的に話し合いで解決するというのが自民党の外交政策にはない。それに対し野党共通政策は、『憲法に基づく政治の回復—アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う』としており、これが世界史の流れだ」と指摘しました。台湾有事を口実とした「戦争する国づくり」について、「アメリカは中国との経済的な結びつきもあり、建設的で安定した関係を望んでいる。アメリカが日本に望んでいることは中国への米軍の軍事的圧力を支援することだ。日本は軍拡一本やりで緊張を激化させてい

るが、安保環境が厳しいと言うのなら、なぜ緩和策を探さないのか。軍事的なことしか考えていない」と指摘。「新たな署名も始まった。参院選にむけて、憲法に基づく政治を実現するため奮闘しよう」と呼びかけました。



来年度予算に関わって4団体が報告

全商連の中山眞さんは、補正予算に盛り込まれた「事業復活支援金」について、「予算額が2兆8032億円で持続化給付金実績の5.5兆円と比べても少なすぎる。期間も11月から来年3月までの5カ月と短すぎる。申請は電子申請のみで、紙ベースや面談での受付を拒否している」と指摘。『「今こそ声をあげれば政治は動く」』ことを確信に、全商連の納税者の権利宣言にある『税金の用途について発言し、監視し、是正する権利を広げる』ため奮闘する」と述べました。

全日本民医連の山本淑子さんは、「来年度予算では、いのちを守る医療について政府は、社会保障費抑制、財務省は診療報酬の『マイナス改定』を主張。一方で、いのちを守る願いと対極にある戦争政策を強化。防衛費の対GDP(国内総生産)比2%など、従来の自民党政治でも行わなかった領域に踏み込んだ。岸田内閣の大軍拡路線に反対する」と訴えました。

新婦人の油原通江さんは、「11月22日に『要請書一年末年始を前に、困窮する女性に確実に届く支援を急ぎ、抜本的な財政措置をとることを強く求めます』を内閣総理大臣らに提出。生理の貧困問題にも取り組み、国や自治体を動かしている。いのちを守る、社会保障、教育拡充などの予算署名に取り組んでいる。12月13日には省庁要請を行う。1月の大会に向け、新しく始まった署名を新婦人新聞読者にも届け、仲間を増やし、要求を実現したい」と強調しました。

沖縄県統一連の瀬長和男さんは、「宮古島に弾薬が運ばれ、沖縄を戦場に見立てて米軍と自衛隊の大規模な演習が行われている。台湾有事で、沖縄が再び戦場になってしまわないか危惧している。来年は沖縄が日本に復帰して50年。1月には名護市長選があり、辺野古ストップの岸本市長を誕生させたい。沖縄を戦場にする流れを止めたい」と訴えました。

日本平和委員会は、青森で米軍機が燃料タンクを投機した問題について、憲法会議は、憲法審査会や参院選と同時に国民投票をねらう維新について、安保破棄中央実行委員会は、辺野古埋め立ての設計変更不承認に連帯したブルーアクションの取り組みについて、それぞれ報告しました。

国民大運動実行委員会の渡辺正道事務局長が閉会あいさつを行い、臨時国会開会日行動や定例の国民大運動などの国会行動への参加を要請するとともに、新署名の推進、名護市長選、参院選勝利にむけて、たたかいをいっそう強めていくことを呼びかけました。

当面の行動

- | | | | |
|------------------|------------|------|----------|
| 12月6日(月)総がかり行動 | 臨時国会開会日行動 | 12時～ | 国会議員会館前 |
| 12月9日(木)憲法共同センター | 「9の日」宣伝 | 12時～ | 新宿駅西口 |
| 12月14日(火)総がかり行動 | ウィメンズアクション | 18時～ | 有楽町イトシア前 |
| 12月16日(木)総がかり行動 | 街頭宣伝 | 18時～ | 新宿駅西口 |
| 12月19日(日)総がかり行動 | 19日行動 | 14時～ | 国会議員会館前 |